

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	小須戸老人福祉センター			
管理者名	新潟市社会福祉協議会	指定期間	平成27年4月1日 ~ 平成30年3月31日	
新潟市主管課	新潟市秋葉区健康福祉課			
所在地	区名	秋葉区	住所	秋葉区小須戸3870番地2
根拠法令	老人福祉法			
設置条例	新潟市老人福祉センター条例			
施設概要	構造	鉄筋コンクリート造2階建		
	敷地面積	4,276.65㎡		
	延床面積	740.02㎡		
	施設内容	大集会室, 休養室, 機能回復訓練室(談話室兼用), 相談室, 浴室(男女各1), 事務室, 個室		

施設設置目的	
<p>高齢者に対して、相談に応ずるとともに、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を目的に設置する。</p>	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<p>【基本的理念】</p> <p>(1) 新潟市老人福祉センター条例に基づき、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援をするための施設として、管理運営を行う。</p> <p>(2) 公の施設であることを認識し、市民の平等利用が確保されるように公平な管理運営を行う。</p> <p>(3) 効果的・効率的な管理運営を行い、経費の削減に努める。</p> <p>(4) 利用者や市民などの意見を管理運営に反映させる。</p> <p>(5) 個人情報保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。</p> <p>(6) 省エネルギーに努めるとともに、廃棄物の発生を抑制し、環境に配慮した管理を行う。</p> <p>(7) 法令を遵守し、施設の管理運営を適切に行う。</p>	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	年間利用者数	前年度と比較し利用者の増があったか。また利用者増の努力をしているか	利用者は前年比に比べ1,251名(13%)減となった。	C	利用団体2組の解散、通年利用者3名(3名×250日=延べ750名)の施設入所等により利用者数が減少。しかし、自主事業の周知方法を工夫するなど利用率向上に努力している。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートでサービス対応への満足度70%以上	アンケート満足度100%	A	施設目的に沿って自主事業を行いサービス向上に役立っている。常に利用者とのコミュニケーションをとって対応している。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には5営業日以内に回答したか。区への事故報告は当日に行ったか	5営業日以内に回答、即日報告	B	苦情・要望の対応が適切にされている。区への報告は当日行っている。
財 務	管理運営経費の削減	経費削減の取組、努力をしているか	努力をしている。	B	光熱水費や燃料費の節約に努めている。
	市の歳入の増加	老人福祉センター条例に基づく利用料の徴収を行ったか	行っている	A	定められた利用料を適正に徴収している。利用状況により利用者が有利となるよう定期利用券を勧めている。
業 務	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	A	業務仕様書に定める事項は遵守し、支援が必要な利用者を含む支援センターにつなげるなどしている。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年2回以上実施	実施している	A	隣接のデイサービスセンターと合同で、看護師による救急対応など実践的な訓練を実施している。
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	当該施設の管理において関係する法令を遵守しているか	遵守している	B	業務仕様書に定める事項は概ね遵守している。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事件事故発生時など緊急時の対応マニュアルの整備	マニュアル整備している	A	緊急時、迅速に対応できるようにマニュアル及び連絡網の整備、見直しやマニュアルを日常的に確認している。
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修を年2回以上実施	実施している	A	個人情報保護に関する内容の再確認、関係団体も含めた衛生管理や認知症についての研修を実施している。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している	A	業務仕様書に定める事項は概ね遵守し、サービス残業が無いよう声かけしている。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

総 合 評 価 (所 見)

通年的に利用している利用者の減少等により、年間利用者数が減ったが、パラエティンヨーや保育園児との交流、ロコモ体操など独自事業を精力的に企画して利用者増に向けた努力がうかがえる。高齢者が安心して利用ができるよう、デイサービスセンターを巻き込み看護師による救急までの実践的な訓練を行い、業務仕様書に基づいた施設の安全管理、様々な研修機会を多く設けるなど職員の意識向上に努めるなど適正に管理している。